

ほほえみ通信

グループホームくりの 第20号

始良郡湧水町米永 181-1 平成 23 年 7 月発行

基本理念

このホームが あなたにとって
最高の我が家となりますように
私たちがあなたにとって
真の家族となりますように

活動目標

今日も一日 笑顔で
ありがとうの心が通い合う
地域社会の人々と共に
楽しい暮らしを目指します



恒例の梅ちぎり



持ってた杖で・・・



「今年は一杯なったなあ」



七夕づくり



短冊に願いごとを・・・



しそ摘み

この手際の良さ



お誕生日おめでとう
ございます！！



みんな上を向いて・・・



“ホームでの
夏の暮し”



かゆいところはないですか？



髪の毛もさっぱりと涼しく・・・



グループホームくりの在職中は、皆様方大変お世話になりました。

思えば3年前の6月に、吉松の実家に独居生活をしていた母を安心させようと、鹿児島より戻りましたが、一緒に生活始めて安心したのかどうか、あっと云う間に、亡くなった父の許へ旅立ってしまいました。鹿児島に又、戻ろうかどうか、随分迷いましたが、母を亡くした私に社長を始スタッフの皆様方の心遣いや、優しさが私の心の支えとなりました。その思いを少しでもお返ししようと、今年の4月迄、主人と別居生活をしながら頑張って参りました。社長、施設長、スタッフそして関係各位の皆様のご理解と協力を得て、「GHくりの」はとても楽しい職場となりました。社長、施設長、そしてスタッフの皆様全員の念願でありました“ホームの18室を満床に”も、おかげ様で昨年実現できました。私は完全燃焼して鹿児島に戻る事ができました。鹿児島に戻りましても湧水町は私の故郷です、これからもホームの皆様方から、うるさがれない程度に又、忘れられない程度に、ホームに戻って来たいと思います。最後にご利用の皆様が、穏やかで安心した日々を過ごされる様、そしてご家族の皆様も一日一日を大切に過ごされます様お祈りいたします。本当に世話になりました。遅くなりましたが、「GHくりの」の今後の増々の発展と皆様方のご健康を祈念して、退職のご挨拶とさせていただきます。

前管理者 向原 仁美



5月より「グループホームくりの」で、向原さんの後任でケアマネージャーとして働かせて頂いております今村です。若さでがんばりますので、今後共どうぞよろしくお願い致します。

朝、笑顔で「おはよう」と手を上げて下さる利用者様。お声は出なくても、手を撫でて下さる利用者様と、朝の挨拶を交わし、一日が始まります。

日々、介護の仕事について感じる事は、常に勉強だなあとということです。それは本などには載っていないことを、利用者・家族から教わる事。言葉を発する事の難しくなった、利用者の方の表情やしぐさから学ぶ事、そして一緒に働くスタッフから学ぶ事など様々です。すべてが私に、色々な事を学ばせてくれます。利用者の方の言葉の中で「順送りやっでなあ」という言葉を聞き、自分の祖母も言っていた事を思い出します。

「夜に爪を切るといけない」「洗濯物の夜干しはいけない」など、その言葉の由来を利用者の方に教わり納得する毎日です。私たちが、経験した事の無い、様々なご苦労をされて、今現在こちらのグループホームに入所されていらっしゃる利用者の方の皆様。思いはそれぞれ違うと思いますが、お一人お一人が居心地の良い空間で生活して頂けるように、お手伝いさせて頂きたいと思っております。

新管理者 今村 里美

認知症の人とは どう接する？

「よい対応」のための6つのポイント

- 1 安心感を与える**
認知症の人の不安な気持ちを理解し、安心させてあげます。目を見ながらゆっくり話し、時には微笑んでください(浦上先生談・以下同)。
- 2 プライドを傷つせず、一人の人間として尊重する**
記憶を支えながら、普通の人と同様に接してください。これまで本人が培ってきた経験を否定したり、誇りを傷つけてはいけません。
- 3 失敗を責めない**
失敗しても叱らず、さりげなくフォローして温かく見守ってください。「大丈夫だよ」など、まず安心させるような言葉がけを。
- 4 一生懸命指導したり、教えようとしない**
丁寧に教えても、覚えられません。注意や指導を繰り返されると、自信と積極性をなくし、不快感だけが記憶として残ります。
- 5 聞き上手になり、訴えを頭ごなしに否定しない**
同じ話でも初めてのよう聞き、たとえ幻覚や妄想でも、否定や反論をしてはいけません。
- 6 正面から話しかけ、短く簡潔な言い方をする**
背後から話しかけないこと。また、一度に2つのことを言わず、分かりやすく、状況に合わせて伝えてください。



ベランダでゴーヤもなりました。

